



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社じげん 上場取引所 東
 コード番号 3679 URL <https://zigexn.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員 CEO（氏名）平尾 丈
 問合せ先責任者（役職名）取締役 執行役員（氏名）波多野 佐知子（TEL）03(6432)0350
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		EBITDA		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	7,593	36.2	2,152	23.7	1,700	—	1,697	—	1,202	—	1,198	—	1,195	—
2021年3月期第2四半期	5,575	△15.9	1,740	△27.5	△2,691	—	△2,694	—	△3,014	—	△3,013	—	△3,017	—
	基本的1株当たり 四半期利益				希薄化後1株当たり 四半期利益									
2022年3月期第2四半期	円 銭 11.08				円 銭 11.08									
2021年3月期第2四半期	△27.54				△27.54									

（注）EBITDA＝営業利益（損失）＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負のれん発生益

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	20,989	13,859	13,859	66.0
2021年3月期	20,101	12,997	12,988	64.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	3.50	3.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%
通期	15,500	23.4	4,400	15.5
	～17,000	～35.3	～5,100	～33.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	111,700,000株	2021年3月期	111,700,000株
2022年3月期2Q	3,577,290株	2021年3月期	3,577,290株
2022年3月期2Q	108,122,710株	2021年3月期2Q	109,419,705株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業は、ライフサービスプラットフォーム事業とその他で構成されております。なお、ライフサービスプラットフォーム事業は、当第1四半期連結累計期間より、ライフメディアプラットフォーム事業より、ライフサービスプラットフォーム事業に名称を変更いたしました。

また、ライフサービスプラットフォーム事業内における、従前の「人材領域」、「不動産領域」、「生活領域」の領域カテゴリーより、主力事業である「Vertical HR」、「Living Tech」と、安定したキャッシュ・フローを生み出す「Life Service」に変更いたしました。

当社グループは、主に中小規模の法人顧客の商流に組み込まれ、安定的な業績貢献が見込まれる「積み上げ型収益」の拡充を、優先的に取り組むべき重要な経営課題と認識して注力しております。「Vertical HR」「Living Tech」「Life Service」の状況は以下のとおりです。

a. Vertical HR

Vertical HRは、株式会社リジョブ（美容、リラクゼーション、介護等の領域に特化した求人情報を提供する媒体『リジョブ』を運営）、株式会社ミラクス（介護・保育分野における人材紹介・派遣事業『ミラクス介護』、『ミラクス保育』等を運営）から構成されております。

株式会社リジョブに関して、サロン利用者の増加に伴い採用ニーズが緩やかに復調し、採用率も徐々に回復傾向にあります。契約事業所数は順調に増加しており、過去最高水準まで伸長いたしました。当事業に係るユーザーサイドにおいては、一部の店舗の採用ニーズの減退により、就職活動が長期化するケースが見られている一方で、応募数はコロナ禍以前の同期間の水準を上回って推移しております。

株式会社ミラクスに関して、介護分野は慢性的な人手不足を背景として、有効求人倍率は他産業と比較して相対的に高水準で推移しており、契約事業所数は過去最高水準を更新いたしました。一方で、ユーザーサイドに関しては、一部において競合状況に変化も見られており、機動的な集客改善を重点的に進める必要がございます。

b. Living Tech

Living Techは、『賃貸スモッカ』等の不動産に関連するメディアとリフォーム会社比較サイト『リショップナビ』等から構成されております。各事業に係る外部環境は、新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても、比較的堅調に推移しております。

当事業に係るクライアントサイドにおいて、不動産仲介業者やリフォーム工事業者は、インターネットメディアへの広告効率重視の姿勢を強めるも、出稿需要は比較的堅調に推移しております。また、リフォーム事業における加盟会社数も順調に増加しております。

ユーザーサイドに関しては、リモートワークの普及や外出自粛期間の長期化を背景とした巣ごもり需要が一巡したものの、引き続き住宅リフォーム、リノベーション需要は堅調に推移しております。また、家探し需要は、東京オリンピック競技大会の開催の影響により、一時的な減退が見られたものの、堅調に推移しております。

これらの外部環境を踏まえ、適切な投資を行っていくことで、不動産関連事業における事業成長の加速、法人顧客の商流獲得による積み上げ型収益の拡充による企業価値向上を目指します。

c. Life Service

Life Serviceは、主に個人ユーザー向けのフランチャイズ比較サイトである『フランチャイズ比較.net』、結婚相談所比較サイト『結婚相談所比較ネット』等の比較メディア事業、株式会社ブレイン・ラボ（人材紹介会社、人材派遣会社向けの業務システム『キャリアプラス』、『マッチングッド』を運営）、株式会社アップルワールド（海外ホテル予約媒体『アップルワールド』等を運営）等から構成されております。

『フランチャイズ比較.net』に関して、フランチャイズ領域の広告出稿需要および独立、開業を志向するユーザーの動きは、ともに堅調に推移しております。今後も集客チャネルの多様化を通じた安定的な収益の確保に注力いたします。

株式会社ブレイン・ラボに関して、クライアントサイドにおいては、外部環境の不透明感を踏まえ、システム投資を控える動きも一部では見られておりますが、解約率については、同社が提供しているのが基幹システムということもあり、比較的安定しております。

株式会社アップルワールドに関して、ユーザーサイドにおいては、当第2四半期会計期間に緊急事態宣言の再発出

及び期間延長があったものの、9月末の宣言解除に伴い、国内旅行需要は緩やかに復調傾向にございます。また、海外渡航需要については、企業の業務渡航を中心に緩やかに復調の兆しが見られます。クライアントサイドにおいては、旅行代理店は国内旅行需要の取り込みを優先的に取り組んでおります。

その他事業においては、株式会社にじげんを中心に、コンシューマ課金サービス、事業化を検討している新規事業を営んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は7,593百万円（前年同期比36.2%増）、売上総利益は6,369百万円（前年同期比36.9%増）、EBITDA※は2,152百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益は1,700百万円（前年同期は営業損失2,691百万円）、税引前四半期利益は1,697百万円（前年同期は税引前四半期損失2,694百万円）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,198百万円（前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期損失3,013百万円）となりました。

（※）EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費＋減損損失＋固定資産除却損及び評価損－負ののれん発生益

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は20,989百万円(前連結会計年度末比888百万円増)となりました。これは主に、現金及び現金同等物が1,230百万円、無形資産が196百万円増加した一方、その他の流動資産が332百万円、使用権資産が181百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は7,130百万円(前連結会計年度末比25百万円増)となりました。これは主に、その他の金融負債が210百万円、未払法人所得税等が176百万円増加した一方、借入金が319百万円、リース負債が182百万円減少したこと等によるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は13,859百万円(前連結会計年度末比862百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金が874百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末より1,230百万円増加し、8,650百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、2,535百万円となりました。これは主に、税引前四半期利益の計上1,697百万円、減価償却費及び償却費の計上452百万円、未払消費税等の増加額215百万円、法人所得税等の支払額375百万円、法人所得税等の還付額258百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、439百万円となりました。これは主に、無形資産の取得による支出412百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、860百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出318百万円、リース負債の返済による支出210百万円、配当金の支払額324百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に発表した「2021年3月期 決算短信」に記載の数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,420	8,650
営業債権及びその他の債権	1,976	1,901
その他の金融資産	1	0
その他の流動資産	563	231
流動資産合計	9,960	10,783
非流動資産		
有形固定資産	101	98
使用権資産	926	745
のれん	6,655	6,655
無形資産	1,251	1,447
その他の金融資産	444	444
繰延税金資産	763	817
その他の非流動資産	1	1
非流動資産合計	10,141	10,207
資産合計	20,101	20,989

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	637	637
営業債務及びその他の債務	841	937
その他の金融負債	1,189	1,399
未払法人所得税等	423	599
引当金	118	121
リース負債	410	416
その他の流動負債	653	698
流動負債合計	4,271	4,807
非流動負債		
借入金	2,132	1,813
引当金	157	156
リース負債	500	312
繰延税金負債	13	3
その他の非流動負債	32	39
非流動負債合計	2,834	2,324
負債合計	7,105	7,130
資本		
資本金	2,552	2,552
資本剰余金	2,538	2,542
利益剰余金	9,281	10,155
自己株式	△1,399	△1,399
その他の資本の構成要素	16	9
親会社の所有者に帰属する 持分合計	12,988	13,859
非支配持分	8	—
資本合計	12,997	13,859
負債及び資本合計	20,101	20,989

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	5,575	7,593
売上原価	△922	△1,224
売上総利益	4,653	6,369
販売費及び一般管理費	△3,443	△4,703
その他の収益	102	35
その他の費用	△4,003	△1
営業利益(△は損失)	△2,691	1,700
金融収益	0	0
金融費用	△3	△3
税引前四半期利益(△は損失)	△2,694	1,697
法人所得税費用	△320	△495
四半期利益(△は損失)	△3,014	1,202
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	△3,013	1,198
非支配持分	△1	4
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△27.54	11.08
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△27.54	11.08

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	2,768	3,770
売上原価	△454	△625
売上総利益	2,314	3,145
販売費及び一般管理費	△1,689	△2,395
その他の収益	88	20
その他の費用	△4,002	△0
営業利益(△は損失)	△3,290	769
金融収益	0	0
金融費用	△2	△2
税引前四半期利益(△は損失)	△3,291	768
法人所得税費用	△144	△225
四半期利益(△は損失)	△3,435	543
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	△3,437	541
非支配持分	1	2
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△31.64	5.00
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	△31.64	5.00

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益 (△は損失)	△3,014	1,202
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3	△7
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△3	△7
その他の包括利益合計	△3	△7
四半期包括利益	△3,017	1,195
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△3,016	1,191
非支配持分	△1	4

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益(△は損失)	△3,435	543
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△2	3
その他の包括利益合計	△2	3
四半期包括利益	△3,437	546
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△3,439	544
非支配持分	1	2

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2020年4月1日残高	2,552	2,538	11,578	△401	△6	16,261	2	16,264
四半期利益(△は損失)	—	—	△3,013	—	—	△3,013	△1	△3,014
その他の包括利益	—	—	—	—	△3	△3	—	△3
四半期包括利益合計	—	—	△3,013	—	△3	△3,016	△1	△3,017
新株予約権の発行	—	—	—	—	16	16	—	16
配当金	—	—	△333	—	—	△333	—	△333
自己株式の取得	—	—	—	△919	—	△919	—	△919
その他	—	0	—	—	△0	△0	—	△0
所有者との取引額合計	—	0	△333	△919	16	△1,236	—	△1,236
2020年9月30日残高	2,552	2,538	8,232	△1,319	7	12,009	2	12,011

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2021年4月1日残高	2,552	2,538	9,281	△1,399	16	12,988	8	12,997
四半期利益	—	—	1,198	—	—	1,198	4	1,202
その他の包括利益	—	—	—	—	△7	△7	—	△7
四半期包括利益合計	—	—	1,198	—	△7	1,191	4	1,195
新株予約権の発行	—	—	—	—	4	4	—	4
配当金	—	—	△324	—	—	△324	—	△324
その他	—	4	—	—	△5	△0	△12	△12
所有者との取引額合計	—	4	△324	—	△1	△321	△12	△333
2021年9月30日残高	2,552	2,542	10,155	△1,399	9	13,859	—	13,859

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△2,694	1,697
減価償却費及び償却費	477	452
負ののれん発生益	△76	—
減損損失	3,986	—
金融収益及び金融費用 (△は益)	3	3
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	474	78
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△293	95
預り保証金の増減額 (△は減少)	△36	33
未払消費税等の増減額 (△は減少)	124	215
その他	△239	82
小計	1,726	2,654
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△3	△3
法人所得税等の支払額	△740	△375
法人所得税等の還付額	420	258
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,403	2,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13	△20
無形資産の取得による支出	△300	△412
敷金・保証金の回収による収入	11	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 収入	155	—
その他	0	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147	△439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10	—
長期借入れによる収入	900	—
長期借入金の返済による支出	△320	△318
リース負債の返済による支出	△217	△210
配当金の支払額	△300	△324
自己株式の取得による支出	△919	—
その他	15	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△831	△860
現金及び現金同等物の換算差額	5	△7
現金及び現金同等物の増減額	431	1,230
現金及び現金同等物の期首残高	6,631	7,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,062	8,650

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。